

## DFM2800 ご使用時の注意事項

拝啓

貴社ますますご清栄の段、大慶に存じます。又、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。  
表記案件につきまして以下に詳細をご報告させていただきます。ご迷惑おかけいたしますことをお詫び申し上げます。  
敬具

### はじめに

---

DFM2800 において、自動運転を行う際の注意事項をお知らせするものです。

### 対象となる装置

---

DFM2800

### 注意事項

---

DFM2800 のパラメータ設定、装置の個体差またはワークの条件によりウェーハ搬送アームが、検査テーブルまたは貼り付けテーブルにウェーハの受け渡し/受け取りをする際に、互いのユニットが吸着し合う（共吸い）状態になってしまい、ウェーハ搬送アームが破損に至る可能性があります。

(パラメータ 365)ウェーハ搬送アーム真空破壊時間(出荷時の設定 0.3sec)、および(パラメータ 432)検査テーブルの真空破壊時間(出荷時の設定 0.3sec)を短く設定し、受け渡し動作を実施すると真空破壊が完了しない（吸着圧が残っている）状態でウェーハ搬送アームが上昇しようとするのが原因です。

出荷時の設定でも問題が発生する可能性がありますので、下記の通りパラメータ設定の変更をお願いします。

- ・パラメータ 365 : ウェーハ搬送アーム真空破壊時間(Wafer transfer arm: Vacuum break time)

(出荷時の設定)0.3sec ⇒ 3.0sec

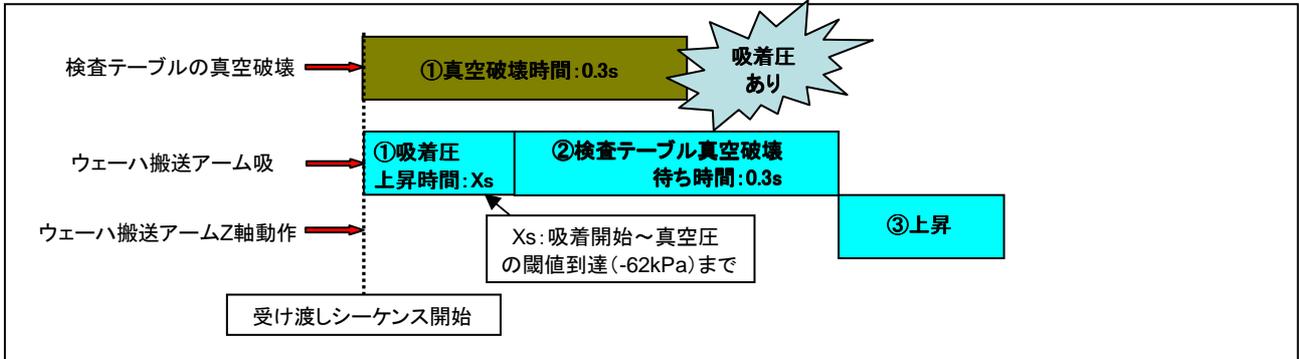
- ・パラメータ 432 : 検査テーブル真空破壊時間(Wafer inspection table: Vacuum break time)

(出荷時の設定)0.3sec ⇒ 3.0sec

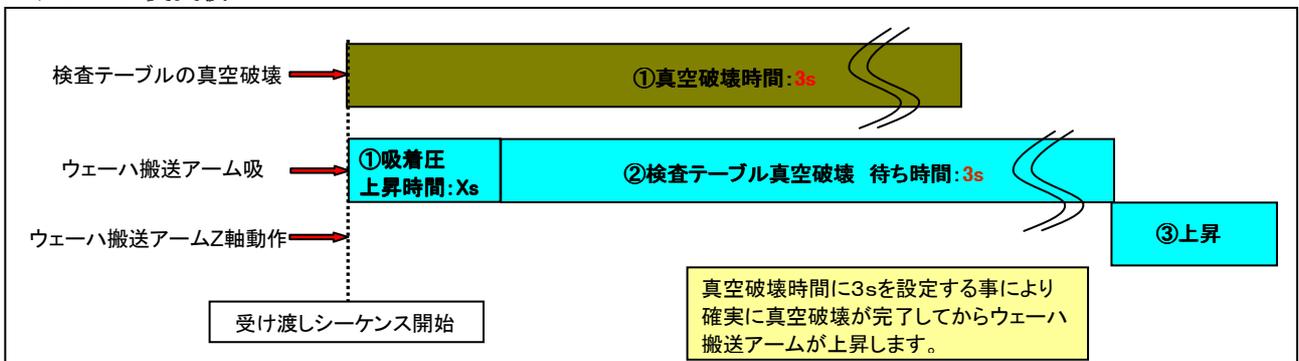
## 動作シーケンスの説明

<検査テーブル真空破壊⇒ウェーハ搬送アーム吸着の例>

### パラメータ変更前



### パラメータ変更後



## お問い合わせ

本件についてのお問い合わせは、弊社営業担当またはサービス拠点までお願いいたします。